

## ワークショップ 1

### 「消化管 GIST 診療の進歩と問題点」

司会 今枝 博之（埼玉医科大学消化管内科）

GIST 診療ガイドラインが公表され、診断、治療は確立されてきている。診断には CT や超音波内視鏡 (EUS) が有用で、質的診断には EUS-FNA や粘膜切開生検などが施行されているが、小さな病変や小腸由来の場合には生検が困難な場合がある。外科治療が第一選択となるが、上部消化管由来では内視鏡切除も報告されている。一方、転移を有する場合は種々の新規薬剤の開発により治療成績は向上しつつあるが、集学的治療は未だ確立されていない。本セッションでは、消化管 GIST に対する診療の進歩と問題点について幅広く演題を応募する。